

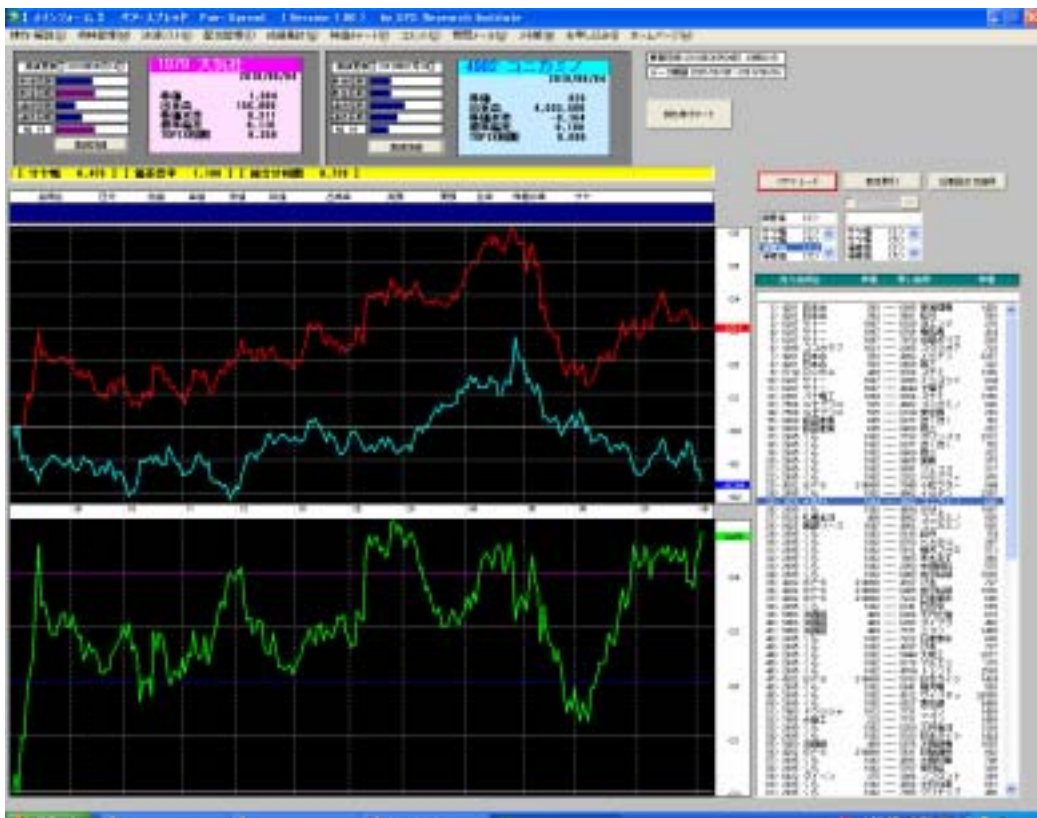
## S P S 研究所の株式投資支援システム

# ペア・スプレッド

運用マニュアル

( 操作方法・運用方法・指標の解説 )

- Version 1.01 -



Windows XP/Vista

## S P S 研究所

ホームページ <http://spsnet.jp>  
メールアドレス [spsnet@spsnet.jp](mailto:spsnet@spsnet.jp)

## 目次

本システムのご利用にあたって .....	2
本システムの特徴 .....	3
本システム投資概念 .....	4
<b>本システムの売買ルール .....</b>	<b>5</b>
ペア・トレード .....	5
裁定取引 .....	9
任意組合せ銘柄 .....	11
画面の操作および解説 .....	12
〔06〕スタートアップ .....	12
〔01〕メインフォーム .....	13
メニューバー .....	14
組合せ銘柄データ表示 .....	15
売買別選択ボタン・表示 .....	15
ペア・トレード .....	15
裁定取引 .....	16
合成チャート .....	17
任意組合せ銘柄 .....	17
業績詳細 .....	18
株価チャート .....	20
操作・解説 .....	22
持株管理 .....	23
決済リスト .....	28
配当管理 .....	31
成績集計 .....	33
コメント .....	33
質問メール .....	34
メモ帳 .....	34
お申し込み .....	35
ホームページ .....	35
エラー処理 .....	36
バージョンアップ .....	37
モニター画面サイズ .....	38
回線接続のトラブルについて .....	38
おわりに .....	40
本システム運用のための参考書籍 .....	41
ご利用料金 .....	42

## 本システムのご利用にあたって

「ペア・スプレッド」は、株式投資においてヘッジ(保険)を取り入れた、きわめて安全性を重視した株式投資システムです。

「ペア・スプレッド」におけるサヤ取り手法は、世界三大利殖法のひとつとされ、投資における「王道」とも言われています。きわめて安全性が高く、理論的に裏づけされた株式投資手法であり、相場変動に左右されず、安定的な収益の積み上げが可能となります。

「ペア・スプレッド」は、投資における安全性、安定性を目的として設計された投資家のための最高レベルの「投資家支援システム」です。「ペア・スプレッド」は、当研究所が長年の研究開発により、その技術の粋を結集し従来のシステムにはない、新たな分野の株式分析手法を取り入れた独自の専用型株式分析システムです。

本システムは、従来の汎用型の分析システムと異なり、売買においてルールが定められている専用型の分析システムであることを十分ご理解ください。本システムの指標は、すべて洗練された売買手法を採用しています。

これらの指標は、すべて過去データの検証を経て、相場の上昇期、下降期においても有効と認められた指数のみを採用しています。そのため、本システムの売買手法には難解な部分が多くありますので、理解いただけるまで本解説書を熟読いただきたいと思います。

### 【おことわり】

裁定取引においては、通常、日経平均先物や日経 225 mini などを採用しますが、本システムでは、これらのデータの取得が困難なため「日経平均(コード 1001)」で代用しています。

本システムの運用手法の詳細につきましては、SPS 研究所発行の「ペア・トレード/裁定取引で儲ける！」(日本実業出版社)に記載されていますのでご参照ください。

なお、「ペア・トレード/裁定取引で儲ける！」の記載で、株価水準およびサヤ水準は百分率(%)で表示されていますが、本システムは、百分率(%)表示ではありませんので注意してください。  
例) 40% 0.4 ポイント

## 本システムの特徴

本システムは、すべて当システムの売買ルールに沿って運用できるよう設計されています。本システムはすでに「ペア・トレード」や「裁定取引」に適した銘柄がリストされていますので、容易に仕掛け組合せ銘柄を選択することが可能です。

### 本システムの構成

本システムは、3種類のシステムで構成されています。

#### 1. 「ペア・トレード」システム

個別銘柄の「サヤ取り」システムです。割高銘柄と割安銘柄をペア組にして売買を行います。あらかじめ「ペア・トレード」に適した条件の下に選り出された組合せ銘柄を提供しています。

#### 2. 「裁定取引」システム。

市場指数(日経先物や日経 225mini)を利用し、常に市場指数を組み合わせで売買を行うシステムです。市場指数銘柄を売り、個別銘柄を買いとして提供しています。

市場指数銘柄を売りに対して、複数の個別銘柄による買いポートフォリオを組むことにより安定した収益が可能となります。

裁定取引に適した買い銘柄には適正マークが付いています。

#### 3. 「任意組合せ」システム

個別銘柄の「ペア・トレード」システムで、割高銘柄と割安銘柄をペア組にして売買を行います。売り銘柄と買い銘柄は市場平均(TOPIX)を基準に分類されています。

株価が市場平均(TOPIX)以上の銘柄を売り銘柄とし、市場平均以下の銘柄を買い銘柄としてリストしてあります。自由に組み合わせ銘柄を選択することができます。

「任意組合せ」システムにおいては、投資家の判断により売買します。

以上のように「ペア・スプレッド」システムは、独自性のある検証に裏づけされた最高レベルの株式投資支援システムです。

## 本システムの投資概念

「ペア・スプレッド」は、個別銘柄間の価格差を利用して利益を得る取引手法です。一般的には、割高銘柄を空売りし、割安銘柄を買い付けして、ペアに組んで売買をします。また、裁定取引においては、「市場指数(日経先物や日経 225mini)を空売りし、現物株式の買い付け」のポジションを設定して売買を行います。

常に市場平均値より割高な銘柄を「売り」、割安な銘柄を「買い」としてこれらを仕掛けることにより、市場の変動リスクを軽減することができるきわめて安全性の高い投資手法です。株式投資に保険(ヘッジ)という概念を取り入れた売買手法です。

これら適正に構成されたポートフォリオは、相場動向に左右されることなく時間の経過と共に安定した収益をはかることができます。

株式投資において、一番難しいとされている今後の相場の見通しを考えるとなく株式投資ができるという大きなメリットがあります。

このように今後の相場の見通しを考える必要がないため、売買の時期を選ぶ必要がなく、いつでも売買が可能となるため、年間を通して安定的な収益をもたらしてくれます。

株式投資は非常にリスクの高いビジネスではありますが、これらのリスクをできるだけ最小限に抑えるために、ヘッジシステムを取り入れ、相場の展開に左右されることなく、一方の損は他方の利益でヘッジするといったきわめて安全性の高い売買手法です。

「裁定取引」においては、買い銘柄は業績が上昇傾向で株価の位置は安いということが条件となります。しかし、株式市場は効率的な市場と言われ、そのような都合の良い銘柄はないように思われますが、時には買われすぎ、売られすぎの銘柄が発生するのも事実です。

このような一時的な市場の「ゆがみ」を利用し、これらの銘柄を効率よく組み合わせ、売買することによってより安全性の高い安定した収益をはかることが可能となります。

本システムは、理論的な裏付けはもとより、過去の膨大な検証により裏付けされたデータベースを採用し構築された従来にはない画期的なシステムです。本システムは、相場に対して主観的にならず、常に客観的な立場から、すべて「数値による判定」をポリシーとして作成されています。主観的、感情的な売買を防ぐために「数値による判定」を取り入れ、すべてにおいて売買ルールが定められています。

また、株式投資をビジネスして捉え、これらの考えのもとに本システムが構築されています。

本システムをご利用されるに当たっては、その趣旨を十分理解された上で正しくご利用いただきたいと思います。

## 本システムの売買ルール

本システムを正しくご利用いただくためには、本システムの趣旨を十分ご理解いただき、その「売買ルール」に沿った運用を行っていただきたいと思ひます。

本システムの売買ルール、および運用方法の詳細については、SPS研究所発行の「ペア・トレード/裁定取引で儲ける！」(日本実業出版社)に記載されていますのでご参照ください。

本システムによる売買は、裁量的な売買を排除し、決められた売買ルールに従って運用することを基本とします。

### ペア・トレード

#### サヤ水準の仕掛け条件

サヤ水準の仕掛け基準は、現時点でサヤ水準の差(サヤ)が 0.4 ポイント以上とします。

#### 【注意】

SPS研究所発行の「ペア・トレード/裁定取引で儲ける！」においては、サヤ水準指数は百分率(%)表示となっています。本システムは、百分率(%)表示ではありませんので注意してください。例) 40% 0.4ポイント

#### 標準偏差値の仕掛け条件

個別銘柄の標準偏差値は 0.05 ~ 0.20、二銘柄間の標準偏差値の倍率は 1.2 倍まで。

#### 相関係数の仕掛け条件

- 1)相関係数 0.5 以上。  
相関係数が高い組み合わせが望ましい。

#### 株価収益率の仕掛け条件(必須条件ではない)

- 1)市場平均の株価収益率より大きい銘柄を割高銘柄とする。
- 2)市場平均の株価収益率より小さい銘柄を割安銘柄とする。

#### 信用倍率の仕掛け条件

- 1)空売りとなる銘柄の信用倍率は3倍以上とする。  
買い銘柄の買い残は少ないほうが望ましい。

これらの条件をクリアした銘柄を仕掛けることにします。

## 分散投資

投資において、できるだけ安全性を高め、なおかつ安定的な収益を確保するためにもリスクの分散を行わなければなりません。そのため、ペア・トレードにおいては、できるだけ多くの組み合わせ銘柄に分散して運用されることをお勧めします。

## 資金配分

総投資額の60%を新規の仕掛けの資金として利用し、残りの40%は増し玉などの分割仕掛け用にプールしておきます。新規の仕掛けが総投資額の60%に達したら、増し玉用の資金枠があっても新規の仕掛けはストップします。

また、新規の仕掛けも一度に大量に仕掛けることなく、できるだけ時間をあけて定期的に仕掛けるように心がけます。これらも時間的分散となります。

## 等金額分散

ペア・トレード手法は、多くの組み合わせ銘柄に分散投資しますが、それぞれの組み合わせにおいて、できるだけ等金額になるよう株数で調整して仕掛けに入ります。

たとえば、投資資金量が1000万円であった場合、まず新規で仕掛けられる資金は総投資額の60%ですから600万円となります。この新規仕掛け資金600万円を何銘柄に分散するかを決めます。もし、10組に分散するとすれば、1組当たり60万円となりますので、ペアに組みした銘柄の合計投資金が60万円(空売り30万円、買い付け30万円)になるよう株数で調整します。

これらの組み合わせにおいて、ペアに組んだ銘柄の株数による調整で、1組あたりの投資金の多少のばらつきはやむを得ないものの、大きな差が出るような場合は、それらの組み合わせは取りやめることにします。

## ペア・トレードにおける禁止事項

### 重複仕掛けの禁止

ペア・トレード手法では、基本的には、その売買において売り銘柄、買い銘柄ともに、同銘柄への複数仕掛けは行わないことになっています。ただし、増し玉は除きます。

たとえば、Aという売り銘柄をすでに仕掛けてあれば、そのA銘柄は決済が済むまで採用しないということです。かりに、売り銘柄Aを3銘柄(A - B、A - C、A - D)仕掛けたとします。この状態で、何らかの原因でA銘柄が急騰したとします。その際には、増し玉という手法で対応することになりますが、その増し玉は、A銘柄とその組み合わせをしている銘柄全部に増し玉をしなければならぬということが起きてきます。

このような増し玉は、一度にたくさんの増し玉資金を必要としますし、また、A銘柄に投資資金

が集中してリスクが増大します。さらに、資金のバランスを悪化させる結果にもなります。従って、このような同一銘柄への重複仕掛けは避けなければなりません。

#### 片はずしの禁止

決済時に注意しなければならないことは、仕掛けが両建てになっていたにもかかわらず、空売り銘柄と買い銘柄を同時に決済せず、片方のみを決済してしまうことです。

ペア・トレードであるにもかかわらず、空売り銘柄も買い銘柄も利益にしたいと考え、利益のある銘柄のみを決済してしまい、後の銘柄は利益が上がるのを待つといった行動をとります。その結果、もっとも危険な片張りの状態に追い込まれてしまいます。

ペア・トレードの決済時においては、両建ての銘柄のうち一方が利益、他方が損失となることがほとんどです。しかし、損の銘柄もいっしょに決済すると利益が減るなどとして、利益のある銘柄のみを決済してしまうというミスを犯すことになります。

このような行為は「片はずし」といって、ペア・トレードでは絶対やってはいけないことです。しかし、これらは、初心者が必ず陥りやすい初歩的なミスでもあるのです。これらは、片張りの癖が抜けないためです。これらの点については、十分注意をして取りかかっていたいただきたい。

### その他の条件

#### 寄り付き、成り行きで注文する

ペア・トレードの条件は、二銘柄を組み合わせてペアで売買する手法です。必ず両銘柄が売買成立しなければなりません。そのため、仕掛けにおいては、必ず「寄り付き、成り行き」で注文します。決済においても同様です。

少しでも有利な株価で仕掛けようとして、指値などすると片方の銘柄しか成立しないということが起こります。これは絶対避けなければなりません。

売値、買値は市場が決めることです。仕掛け時の株価は市場にゆだねるとう気持ちで対応すべきです。よって、仕掛け、決済は「寄り付き、成り行き」で注文します。

#### 期間を設定して決済する

適正な条件の組み合わせにおいて仕掛けたものの、その後サヤが一向に縮小せず、時間ばかり経過しているという組み合わせ銘柄も発生すると思います。このような場合、資金効率的な考え方からも、ある程度の期間を設定しておいて処分するという方法とるべきです。これらの期間の設定は、投資家の投資資金量や投資スタンスなどから決定されれば良いと思います。



## 増し玉と損切り

ペア・トレードの仕掛けにおいて、すべての組み合わせ銘柄に増し玉をしなければならないわけではありませんので、投資金の資金配分として、余裕を持って資金の40%を別枠でプールして、その資金を増し玉時に利用します。

増し玉は、当手法では積極策として採用します。増し玉をしないで、そのまま持続しても良いのですが、増し玉により決済時期を早めるという相乗効果も期待できるわけです。

### 増し玉の基準

サヤ水準の仕掛け条件に、

- 1) サヤ水準が0.6ポイントの位置に達したら第一回目の増し玉を行います。
- 2) さらにサヤ水準が拡大し、0.8ポイントの位置に達したら第二回目の増し玉を行います。

増し玉の水準に達した場合には、各組み合わせの銘柄の指標(標準偏差値や標準偏差倍率等)を再度検証し、本来の仕掛け条件に合致した場合のみ増し玉を行います。しかし、二回目の増し玉時などにおいては、これらに合致しないこととなるため、ほとんどの場合は、後述の「損切り」となります。

### 増し玉時の決済

- 1) 第一回目の増し玉を行った場合には、サヤ水準が0.3ポイントの位置に達したら決済します。
- 2) 二回目の増し玉を行った場合には、サヤ水準が0.4ポイントの位置に達したら決済します。

増し玉を行った時の決済は、サヤ水準が0.3ポイントの位置(二回目の増し玉時は0.4ポイント)に達したら決済してください。その際には、当然ながら0.05ポイント幅のトレイリングストップによる決済を行ってください。

### 損切り

当手法においては、「サヤ水準が0.6ポイント(第二回目は0.8ポイント)の位置に達したら増し玉します」と、増し玉の基準が明確になっています。これらの増し玉の水準が「損切り」の水準にも変わります。

サヤ水準が0.6ポイントの位置に達し、増し玉の水準となった場合、各組み合わせの銘柄の指標(標準偏差値や標準偏差倍率等)を再度検証し、本来の仕掛け条件に合致した場合のみ増し玉を行います。しかし、これらに合致しない場合は、「損切り」とします。

これらの損切りは、二回目の増し玉時においても同様に検証し、これらに合致しない場合は、「損切り」とします。

### トレイリングストップとは

トレードの利益を確定するために注文を断続的に上昇相場では上げていき、下落相場では下げていくこと。短期売買で反対売買するときに、利益を確保しながら利益を伸ばすための手法。

## 裁定取引

### 裁定取引の資金配分

買い銘柄の資金配分(複数銘柄の場合)

同程度の株価水準の銘柄であるため各銘柄の資金配分は等金額とします。

各銘柄を等金額にするためには、できるだけ等金額になるよう株数で調整します。もし、これらによっても金額が突出する場合には、その銘柄の採用を見送るべきです。

全体の資金配分

売り銘柄(日経 225 mini)と買い銘柄のパッケージにおいて、これらの資金配分は非常に重要となります。

買いの数銘柄のパッケージされた銘柄の個々のボラティリティである標準偏差を利用し算出します。そして、それらを合計して平均値を求めます。さらに、売り方とされる日経 225 mini の算出されたボラティリティを標準偏差で算出します。

日経 225 mini の標準偏差と買いの数銘柄のパッケージされた銘柄の標準偏差を比較して資金配分をします。

たとえば、買い銘柄のパッケージが 5 銘柄で、それぞれの標準偏差が 0.187、0.217、0.205、0.163、0.098 であり、日経 225 mini の標準偏差が 0.109 であった場合、買い銘柄のパッケージされた銘柄の標準偏差の平均値は、

$$0.174 = (0.187 + 0.217 + 0.205 + 0.163 + 0.098) \div 5 \text{ となります。}$$

そこで、これらの比率で投資金の配分を行います。

買い銘柄のパッケージされた銘柄の投資金の 1.59 (倍) =  $(0.174 \div 0.109)$  を日経 225 mini に配分します。

たとえば、買い銘柄のパッケージに 500 万円投資したとすると、日経 225 mini へは、795 万円  $(500 \times 1.59)$  投資することになります。

また、反対に日経 225 mini への投資金を 500 万円とした場合、買い銘柄のパッケージは、0.62 (倍) =  $(0.109 \div 0.174)$  の 310 万円となります。

このようにして、日経 225 mini の標準偏差と買いの数銘柄のパッケージされた銘柄の標準偏差

の平均値を比較して資金配分を行います。

これらは、買いの数銘柄のパッケージされた銘柄の数により異なってきますので、仕掛け時には必ずこれらの計算をして資金配分を適正に行ってください。

#### 仕掛けの手順と決済

##### 仕掛けの手順

買いの数銘柄のパッケージされた銘柄が選択されたら、すぐに仕掛けが可能です。仕掛けは、日経225miniと買いの数銘柄のパッケージされた銘柄を資金のバランスをとった後に一括で仕掛けます。すべて、寄り付き、成り行きでの注文となります。

##### 決済および運用

##### 一括での決済

基本的には一括決済です。どの水準で決済するかという問題ですが、ここでは、仕掛け時点のサヤ水準を決めずに仕掛けに入っているはずで

そこで、ここでの決済基準は、仕掛け時点のサヤ水準からサヤが0.1ポイント以上縮小した時点とします。利幅を伸ばすために、トレイリングストップを採用します。トレイリングストップの幅は0.03ポイントとします。

#### 【注意】

買い銘柄としての銘柄数が多くなった場合には、決済時の利益幅目標値(当解説では0.1ポイント)を引き下げていかなければなりません。

反対に、買い銘柄としての銘柄数が更に少ない場合には、決済時の利益幅目標値(当解説では0.1ポイント)を引き上げていかなければなりません。

その理由として(銘柄数が多くなった場合)、

買い銘柄としての銘柄数が多くなればなるほど、買い銘柄パッケージの平均の株価水準が限りなく日経平均に近づいてくるからです。なぜなら、日経平均は、日経平均採用の225銘柄の平均値であり、買い銘柄としての銘柄数が225銘柄に近づけば近づくほど日経平均になってくるからです。

##### 増し玉と損切りについて

通常、適正に選択されたパッケージ銘柄による裁定取引においては、増し玉は必要ないと思われ

このような場合の増し玉は、投資家の資金量に合わせて、仕掛け時点から0.05ポイントから0.1ポイントの範囲で増し玉されると良いと思います。

増し玉は、最初の仕掛け時点と同じ条件で再度仕掛けます。空売り銘柄として日経225miniを、

買い銘柄として最初にパッケージされた銘柄と株数を仕掛けます。

### 損切りについて

適正に選択されたパッケージ銘柄においては、損切りとなるケースは少なくなると思いますが、相場の世界は何があるか分からないし、何があってもおかしくない世界であるため、万が一のために損切りについてもルール化しておかなければなりません。

裁定取引における損切りは、やはり投資家の資金量などによりある程度幅を持たせても良いと思います。その水準は、増し玉の水準である仕掛け時点から0.05ポイントから0.1ポイントの範囲で行うのが通常です。つまり、増し玉の水準になった時点で増し玉するか損切りするかを決定することになります。

これらの増し玉、損切りは仕掛け後に判断するのではなく、あらかじめ投資金などから考えて、仕掛け前に決定しておかなければなりません。

また、もうひとつの損切りのケースとして

たとえば、5銘柄のパッケージで裁定取引を行ったものの、その中の一銘柄に悪材料などが出て急落した場合などには、その銘柄のみを損切りし、そのまま4銘柄で継続していくか、または、条件に合った銘柄を追加して運用していくなどの方法も可能です。

このような場合も想定し、あらかじめ仕掛け前に投資金などを考慮してルール化しておくことをお勧めします。

#### 【注意】

日経225miniには3ヶ月ごとに清算日(SQ)という期日があります。もし、持ち株継続中に清算日となった場合には、利益があれば決済して良いでしょうし、まだ利益が出ていない場合は、次限月にロールオーバー(乗り換え)します。

#### 【注意】

買い銘柄としてパッケージされた銘柄の中から、利益の出た銘柄だけを利食いしてしまうようなことは絶対に避けてください。仕掛けも決済もすべて「寄り付き、成り行き」で一括で行います。

### 任意組合せ銘柄

任意組合せ銘柄においては、投資家の責任において売買してください。

## 画面の操作および解説

本システムで表示される画面は、下記の内容で構成されています。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 〔01〕メインフォーム  | 〔11〕 配当管理   |
| 〔02〕 決済リスト   | 〔12〕 株価チャート |
| 〔03〕 持株管理    |             |
| 〔04〕 成績集計    |             |
| 〔06〕 スタートアップ | その他 メモ帳     |
| 〔07〕 コメント    | 質問メール       |
| 〔09〕 エラー処理   |             |

### 〔06〕スタートアップ

本システムを起動すると「スタートアップ画面」が立ち上がります。

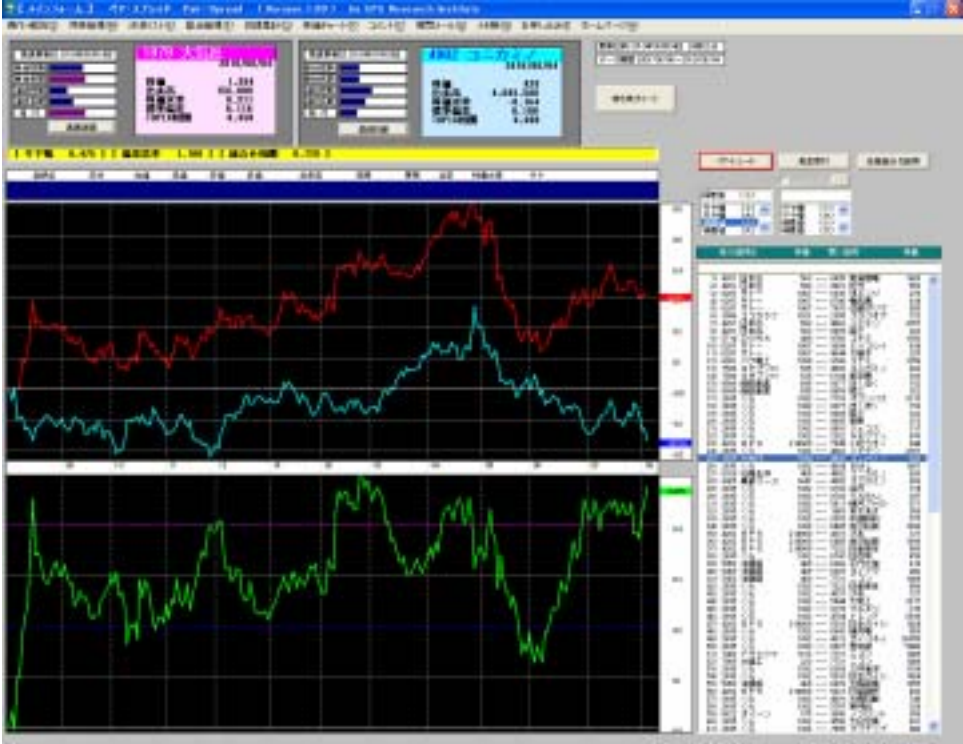


パスワードを入力し「OK」ボタンをクリックしてスタートします。

【注意】パスワードは必ずキーボードより小文字で入力します。貼り付けは不可。

正常に起動できない場合、または接続が遅い場合は「本システムが接続できない場合の対処法」を参照ください。 <http://www.spsnet.jp/information.html>

[ 0 1 ] メインフォーム



組合せチャート、サヤチャート、サヤ指標、組み合わせ銘柄リスト等が表示されます。

株価チャート上でマウスを移動すると、株価チャート上部のボックスに株価や出来高、各サヤ指標が表示されます。

「ペア・トレード」「裁定取引」「任意組合せ銘柄」の選択ができます。

## メニューバー

メインフォーム画面の最上部に位置し、必要な項目を選択できます。



「操作・解説」「持株管理」「決済リスト」「配当管理」「成績集計」「株価チャート」「コメント」「質問メール」「メモ帳」「お申し込み」「ホームページ」の項目が選択できます。

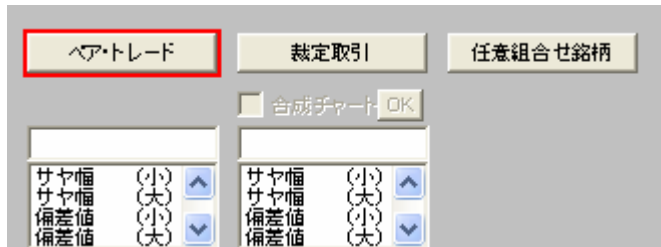
## 組合せ銘柄データ表示

各組合せ銘柄のデータや各指標、業績ランクなどが表示されます。



## 売買別選択ボタン・表示

「ペア・トレード」「裁定取引」「任意組合せ銘柄」の選択をします



### 「ペア・トレード」

個別銘柄の組合せによる売買を行います。

個別銘柄の組合せのリストが表示されます。組み合わせリストをクリックすると組合せチャート、サヤチャート、サヤ指標等が表示されます。

売り銘柄名	株価	買い銘柄	株価
1> 6652 I D E C	869	6358 酒井重	124
2> 6652 I D E C	869	6715 ナカヨ通	161
3> 8880 飯田産業	684	1865 青木あす	369
4> 2695 くら	1351	5911 橋河ブHD	579
5> 7270 富士重	454	8051 山善	367
6> 8263 タイイー	417	6924 岩崎電	150
7> 8973 R-綾ハS	269100	6751 日無線	202
8> 7256 河西工	283	6859 エスベック	573
9> 3605 サンイー・	1161	6801 東光	144
10> 4282 E P S	219600	5333 日本ガイシ	1351
11> 8880 飯田産業	684	4312 サイバネッ	27140
12> 8214 A O K I	1296	6815 ユニデン	232
13> 2309 シミック	25130	8005 スクロール	305
14> 7898 ウッドワン	308	6996 ニチコン	1067
15> 6652 I D E C	869	5019 出光興産	6350
16> 8973 R-綾ハS	269100	8051 山善	367
17> 6652 I D E C	869	5929 三和HD	281
18> 4282 E P S	219600	8803 平和不	203
19> 3605 サンイー・	1161	5208 有沢製	527
20> 7860 エイベック	1068	6590 芝浦	336
21> 8880 飯田産業	684	6841 橋河電	517
22> 8880 飯田産業	684	6269 三井海洋	1309
23> 7898 ウッドワン	308	6355 住友精密	269
24> 8880 飯田産業	684	4551 鳥居榮	1352
25> 8880 飯田産業	684	4444 上野千	2124

### 選択ボックス

- サヤ幅 (小) . . . . . サヤ幅の小さい順に並び替えます。
- サヤ幅 (大) . . . . . サヤ幅の大きい順に並び替えます。
- 偏差値 (小) . . . . . 偏差値の小さい順に並び替えます。
- 偏差値 (大) . . . . . 偏差値の大きい順に並び替えます。
- 相関 (小) . . . . . TOPIX に対する相関の小さい順に並び替えます。
- 相関 (大) . . . . . TOPIX に対する相関の大きい順に並び替えます。
- リスク (小) . . . . . リスクの小さい順に並び替えます。
- リスク (大) . . . . . リスクの大きい順に並び替えます。



## 「裁定取引」

裁定取引による売買を行います。

裁定取引の買い銘柄のリストが表示されます。買い銘柄のリストをクリックすると組合せチャート、サヤチャート、サヤ指標等が表示されます。

買い銘柄名	株価	株価水準	標準偏差	日経相関
1001 日経平均	9221	-0.052	0.05	1.00
1> 1332 日水	290	0.155	0.05	0.00
2> 1334 マルハニチ	133	-0.050	0.05	-0.09
3> 1605 国際帝石	393000	-0.461	0.13	0.44
4> 1721 コムシスH	798	-0.222	0.10	0.46
5> 1801 大成建	173	-0.168	0.10	0.58
6> 1802 大林組	366	-0.131	0.11	0.51
7> 1803 清水建	323	-0.150	0.08	0.78 △
8> 1812 鹿島	204	-0.239	0.12	0.34
9> 1925 大和ハウス	819	-0.148	0.08	0.88 ○
10> 1928 積水ハウス	772	-0.115	0.07	0.81 ○
11> 1963 日揮	1454	-0.073	0.08	0.43
12> 2002 日清粉G	1064	-0.033	0.07	0.56
13> 2269 明治HD	3755	-0.009	0.04	0.06
14> 2282 日ハム	1141	0.029	0.04	0.50
15> 2501 サッポロH	398	-0.282	0.10	0.58
16> 2502 アサヒ	1484	0.039	0.06	0.73
17> 2503 キリンHD	1097	-0.218	0.07	0.44
18> 2531 宝HL D	466	-0.206	0.11	0.32
19> 2768 双日	133	-0.314	0.10	0.58
20> 2801 キッコマン	921	-0.078	0.06	0.73
21> 2802 味の素	816	-0.010	0.06	0.72
22> 2871 ニチレイ	370	0.034	0.05	0.10
23> 2914 J T	270600	-0.006	0.09	0.70
24> 3086 Jフロン	391	-0.223	0.12	0.68
25> 3099 ミツコシ	812	-0.131	0.10	0.60
26> 3101 洋紡	144	-0.143	0.09	0.24
27> 3103 ユニチカ	72	-0.122	0.09	0.32
28> 3105 日清紡HD	890	-0.229	0.12	0.40

「 」 「 」のついた銘柄は、一定の基準を満たした銘柄です。

## 選択ボックス

サヤ幅 (小) ・ ・ ・ ・ サヤ幅の小さい順に並び替えます。

サヤ幅 (大) ・ ・ ・ ・ サヤ幅の大きい順に並び替えます。

偏差値 (小) ・ ・ ・ ・ 偏差値の小さい順に並び替えます。

偏差値 (大) ・ ・ ・ ・ 偏差値の大きい順に並び替えます。

日経相関(小) ・ ・ ・ ・ 日経平均に対する相関の小さい順に並び替えます。

日経相関(大) ・ ・ ・ ・ 日経平均に対する相関の大きい順に並び替えます。

## 合成チャート



複数銘柄での買いパッケージによる売買は、まず、「合成チャート(A)」にチェックマークを入れ、下段の日経225採用銘柄リストから選定銘柄をクリックします。選択された銘柄は「B」に表示されます。選択できる銘柄数は最大で10銘柄です。

選択が済んだら「OK」ボタンをクリックすると、選択された銘柄の合成チャートが表示されます。

## 「任意組合せ銘柄」

任意銘柄による売買を行います。

任意銘柄のリストが表示されます。売り銘柄、買い銘柄のリストをクリックすると組合せチャート、サヤチャート、サヤ指標等が表示されます。

売り銘柄名	株価	買い銘柄	株価
1> 1414 ショーボン	1839	1> 1352 ホウスイ	108
2> 1518 三井松島	132	2> 1377 サカタのタ	1171
3> 1722 M1S AW	407	3> 1379 ホクト	1703
4> 1819 太平工	287	4> 1412 チャイナホ	19010
5> 1827 ナカノフド	211	5> 1515 日鉄鉱	282
6> 1835 東鉄工	551	6> 1605 国際帝石	393000
7> 1867 植木組	121	7> 1661 瓦斯開発	439
8> 1878 大東建	4595	8> 1662 石油資源	3425
9> 1879 新日本建	222	9> 1712 ダイセキS	89500
10> 1893 五洋建	115	10> 1720 東急建設	224
11> 1924 パナホーム	501	11> 1721 コムシスH	798
12> 1961 三機工	708	12> 1762 高松G	1072
13> 1963 日揮	1454	13> 1766 東建コーポ	2445
14> 1978 アタカ大機	225	14> 1801 大成建	173
15> 1979 大気社	1400	15> 1802 大林組	366
16> 2002 日清粉G	1064	16> 1803 清水建	323
17> 2056 日配飼料	111	17> 1812 鹿島	204
18> 2059 ユニチャベ	3825	18> 1816 安藤建	103
19> 2109 三井製糖	305	19> 1820 西松建	105
20> 2131 アコーティ	78900	20> 1824 前田建	228
21> 2211 不二家	166	21> 1833 奥村組	315
22> 2215 第一パン	113	22> 1860 戸田建	274
23> 2267 ヤクルト	2496	23> 1865 青木あす	369
24> 2288 丸大食	254	24> 1868 三井ホーム	422
25> 2301 学情	290	25> 1870 矢作建	536
26> 2309 シミック	25130	26> 1871 P S = 華	242

## 「業績詳細」

表示された銘柄の業績の詳細を表示します。単独決算、来期予想を含め6期分。連結決算、来期予想を含め6期分。および格付け。

業績の表示は一部表示できない銘柄もあります。

表示されている日付は、業績データが更新された日付です。

業績詳細データ		2010/06/18				
8601	大和証券G本社 東証1部 証券	日経225	日経500	日経3		
<<単独決算>> 10/04/30						
決算期	売上	営業利益	経常利益	利益	一株益	配当
6/03	35215	23033	25140	51335	38.6	34.0
7/03	78806	65343	69415	74874	54.8	28.0
8/03	58544	41721	42608	38989	28.3	22.0
9/03	51100	33010	34704	85	0.1	8.0
0/03	27464	8270	10236	23613	14.4	13.0
予1/03	-100000000	0	0	0	-0.0	0.0
<<連結決算>> 10/04/30						
決算期	売上	営業利益	経常利益	利益	一株益	配当
6/03	845659	254159	260651	139948	103.9	0.0
7/03	917307	186391	195415	92724	67.9	0.0
8/03	825422	83632	90143	46411	33.7	0.0
9/03	413936	-143725	-141150	-85039	-63.2	0.0
0/03	537915	95261	102917	43429	26.4	0.0
予1/03	-100000000	0	0	0	-0.0	0.0
◆業績ランク◆						
単独短期 (3年)	2.9	単独長期 (6年)	3.0			
連結短期 (3年)	0.4	連結長期 (6年)	0.4			
格付 [財務体質]	2.6					
◆ 業績の最終確認はウェブサイトなどの最新データでご確認ください。						

## 「業績ランク」

業績ランクは、業績の各項目（売上、経常益、一株益、配当・・・28項目）を分析し、全銘柄を集計し、それらを「0～10」までのランク付けをしています。業績の市場平均値は「5」となります。業績水準が「5」以上の銘柄は市場平均に対して「良い」ということとなります。反対に「5」以下の銘柄は市場平均に対して「悪い」ということとなります。

「単独短期」は、単独決算の来期予想を含め3期分の推移で計算。

「単独長期」は、単独決算の来期予想を含め6期分の推移で計算。

「連結短期」は、連結決算の来期予想を含め3期分の推移で計算。

「連結長期」は、連結決算の来期予想を含め6期分の推移で計算。

「格付」はその銘柄の財務の健全度を表した数値です。「格付」は市場平均を「5」として、「5」以上は市場平均より財務体質が健全であると判断します。範囲は0～10です。

【注意】業績の内容の数値データは会社側からの発表時に更新していますが、途中で修正される場合もありますので、このような場合はインターネットの株式サイトなどで最新の数値データを参考にして下さい。

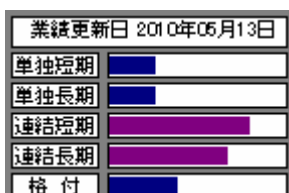
#### 更新日時

本システムのデータが更新された日付および時間です。ご利用される時は必ず確認してください。

#### データ期間

本システムのデータ保有期間です。

#### 業績グラフ

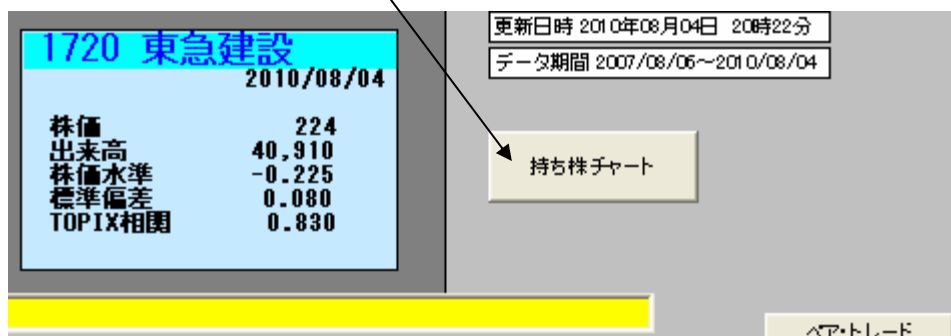


表示された銘柄の「単独短期(直近3年間の集計)」、「単独長期(直近6年間の集計)」、「連結短期(直近3年間の集計)」、「連結長期(直近6年間の集計)」、「格付」がグラフ表示されます。

これらの指標は、全銘柄の業績集計から割り出した指標であり、当研究所のオリジナル指標です。  
なお、業績の最終確認は、ウェブサイトなどの最新データで確認してください。

#### 持ち株チャート

持ち株のチャートを表示します。



リストに表示された組合せ銘柄をクリックするとチャートが表示されます。

## 〔 1 2 〕 株価チャート



### 株価チャート

株価チャートは、6ヶ月、12ヶ月、全期間(最大1年6ヶ月)の表示切り替えができます。

銘柄リストをクリックすると株価チャートが表示されます。

株価チャート上でマウスを移動すると、株価チャート上部のボックスに株価や出来高どの内容が表示されます。

株価チャート上でマウスを右クリックすると縦、横のスケールラインが引かれます。

「銘柄名」表示のところに「銘柄名」「市場」「単元株数」などが表示されます。

### 出来高/信用残

該当銘柄の「出来高」と信用の「売り残」「買い残」が表示されます。

#### コード入力

証券コードを入力すると株価チャートが表示されます。

#### 更新日時

本システムのデータが更新された日付および時間です。ご利用される時は必ず確認してください。

#### データ保有期間

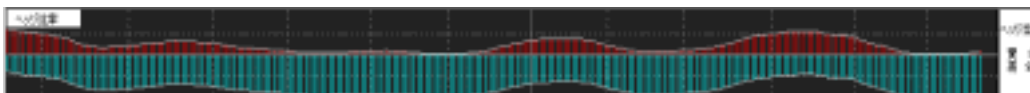
本システムのデータ保有期間です。

#### 表示期間の「株価水準」「標準偏差」指数

表示された株価チャート期間の「株価水準」「標準偏差」の指数を表示します。

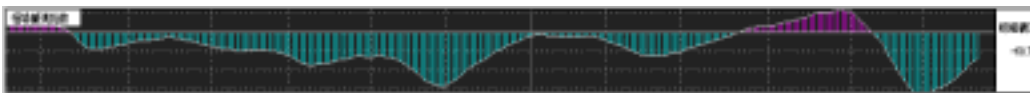
#### 相場ヘッジ比率

「相場ヘッジ比率」は、相場全体における買いポジションと売りポジションの比率を表示します。買い銘柄、売り銘柄をこれらの比率で売買することにより、ヘッジの役割を果たし安全な運用が可能となります。相場ヘッジ比率は、0～100の範囲で変動します。



#### 相場観測指数

「相場観測指数」は、相場全体の相場動向を表した指数です。紫色(指数が「0」以上)は上昇トレンド、緑色(指数が「0」以下)は下降トレンドと判定します。



#### 【注意】

相場ヘッジ比率、相場観測指数は、ペア・スプレッドには直接関係するものではありませんが、相場全体の変動の参考にしてください。

## 操作・解説

本書です。本システムのマニュアルです。操作方法やその解説が掲載されています。  
PDFファイル(Adobe Reader)やマイクロソフトのワード(Microsoft word)で閲覧します。




PDFファイルは、アドビー・リーダーがインストールされていなければなりません。アドビー・リーダー(Adobe Reader)は、

<http://get.adobe.com/jp/reader/>  
で無料でダウンロードできます。

ワードは、マイクロソフトのワードがインストールされていなければなりません

### 〔 0 3 〕 持株管理

持株の登録や訂正、削除を行います。持株の合計の成績を表示します。各項目の並び替えができます。



The screenshot shows a software window titled "持株管理" (Stock Management). It features a table with multiple columns. The columns include: 仕掛日 (Acquisition Date), 銘柄名 (Stock Name), 仕掛値 (Acquisition Price), 株数 (Quantity), 現在値 (Current Price), 損益 (Gain/Loss), 損益金 (Gain/Loss Amount), 損益率 (Gain/Loss Rate), 日数 (Days), グループ (Group), and 基点日 (Base Date). The table contains several rows of data, with some cells highlighted in blue. The interface also includes various buttons and input fields at the top and bottom.

#### 持株リスト

持株の一覧が表示されます。持株の管理を行います。

- 「仕掛日」 持株を仕掛けた日。
- 「買/売」 買い、空売りの別。
- 「銘柄名」 持株の銘柄名。
- 「仕掛値」 持株を仕掛けた価格。
- 「株数」 持株を仕掛けた株数。
- 「現在値」 データ更新日の終値の株価。
- 「損益」 仕掛値と現在値の差。
- 「損益金」 仕掛値と現在値の差に株数を掛けた損益金。
- 「損益率」 仕掛値に対する現在値の損益率。
- 「日数」 仕掛日からデータ更新日までの日数。
- 「グループ」 ペアに組した銘柄や裁定取引の同グループの認識番号。
- 「基点日」 仕掛け時の基点(1年前)となる日付。



【注意】

「グループ」 ペアに組した銘柄や裁定取引の同グループの認識番号について。

「グループ」は、ペアに組した銘柄を組合せ銘柄として認識するために、同じ数値またはアルファベットをつけて区別します。たとえば空売りの A 銘柄、買いの B 銘柄をペアにして仕掛けたとします。この場合グループ名として、「1 と 1」や「55 と 55」、「a と a」、「P と P」などと同じ数値または記号をつけます。裁定取引での複数仕掛け(5 銘柄の場合)の場合は、「2、2、2、2、2」などと同じ認識番号(記号)をつけます。

数値またはアルファベット(半角の大文字、小文字)は、半角で 3 桁まで入力できます。

グループ

損益金	損益率	日数	グループ	基点日
-540	-0.6%	3	55	2009/06/04
98,000	19.6%	3	55	2009/06/04
36,000	9.2%	3	55	2009/06/04
-5,000	-1.2%	3	55	2009/06/04
39,000	4.9%	3	55	2009/06/04
24,000	4.7%	3	55	2009/06/04
49,000	9.8%	3	aaa	2009/06/10
6,000	0.8%	2	aaa	2009/06/10
-5,610	-24.4%	1	1	2009/07/02
10,000	3.8%	1	1	2009/07/02
6,000	2.6%	1	pp	2009/07/12
-26,000	-7.4%	1	pp	2009/07/12
-154	-1.6%	2	888	2009/07/16
24,000	8.7%	2	888	2009/07/16
-154	-1.6%	2	v	2009/08/01
-1,000	-0.2%	2	v	2009/08/01
-1,000	-0.3%	1	v	2009/08/01
-21,000	-2.4%	1	ww	2009/08/05
22,000	4.6%	1	ww	2009/08/05

リスト(持ち株チャート表示時)には、グループごとに分類されて表示されます。

このリストで、該当する銘柄をクリックすると持ち株(組合せ)のチャートが表示されます。


銘柄名	仕掛日	売買	仕掛値	グループ
1> 1001 日経平均	2010/08/03	売●	9,600	55
2> 1332 日水	2010/08/03	買○	250	55
3> 1334 マルハニチ	2010/08/03	買○	130	55
4> 1605 国際帝石	2010/08/03	買○	430,000	55
5> 1721 コムシスH	2010/08/03	買○	800	55
6> 1801 大成建	2010/08/03	買○	170	55
7> 5301 東海カーボ	2010/08/03	売●	500	aaa
8> 7731 ニコン	2010/08/04	買○	1,500	aaa
9> 1412 チャイナボ	2010/08/05	売●	23,000	1
10> 6508 明電舎	2010/08/05	買○	260	1
11> 1879 新日本建	2010/08/05	売●	230	pp
12> 6590 芝浦	2010/08/05	買○	350	pp
13> 1001 日経平均	2010/08/04	売●	9,500	888
14> 1332 日水	2010/08/04	買○	275	888
15> 1001 日経平均	2010/08/04	売●	9,500	v
16> 1605 国際帝石	2010/08/04	買○	426,000	v
17> 1332 日水	2010/08/05	買○	300	v
18> 5201 旭硝子	2010/08/05	売●	880	ww
19> 8604 野村	2010/08/05	買○	480	ww

【注意】

「基点日」 仕掛け時の基点(1年前)となる日付について。

本システムの初期の分析期間は1年としています。そのため、持ち株として登録(入力)する時点で、その分析期間である1年前の日付を登録しておきます。これは、サヤなどの分析指数をすべて持ち株の仕掛け時点(基点日)から分析計算できるようにするためです。持ち株として登録された組合せ銘柄は、すべて仕掛け時の基点日から計算され、チャート表示されます。組み合わせた銘柄の基点日は、必ず同じ日付でなければなりません。

基点日



損益金	損益率	日数	グループ	基点日
-540	-0.6%	3	55	2009/06/04
98,000	19.6%	3	55	2009/06/04
36,000	9.2%	3	55	2009/06/04
-5,000	-1.2%	3	55	2009/06/04
39,000	4.9%	3	55	2009/06/04
24,000	4.7%	3	55	2009/06/04
49,000	9.8%	3	aaa	2009/06/10
6,000	0.8%	2	aaa	2009/06/10
-5,610	-24.4%	1	1	2009/07/02
10,000	3.8%	1	1	2009/07/02
6,000	2.6%	1	pp	2009/07/12
-26,000	-7.4%	1	pp	2009/07/12
-154	-1.6%	2	888	2009/07/16
24,000	8.7%	2	888	2009/07/16
-154	-1.6%	2	v	2009/08/01
-1,000	-0.2%	2	v	2009/08/01
-1,000	-0.3%	1	v	2009/08/01
-21,000	-2.4%	1	ww	2009/08/05
22,000	4.6%	1	ww	2009/08/05

【注意】

本システムにおいて、日経平均の証券コード番号を「1001」としています。

## 操作ボタン

### 新規登録

新規に仕掛けた銘柄を持株として登録します。

「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」「グループ」「基点日」の順で入力します。

「仕掛日」「基点日」は、日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

### 訂正

すでに持株として登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の持株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

### 削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の持株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「実行」ボタンをクリックします。

### 転送(決済リスト)

持株リストに登録されている銘柄で、すでに決済となった銘柄は「決済リスト」に転送し削除します。「転送(決済リスト)」ボタンをクリックし、下段の持株リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、転送する銘柄に間違いがなければ「実行」ボタンをクリックします。決済リストに転送される項目は、「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」です。

### キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

### 印刷

持株リストに表示されている銘柄リストを印刷します。

### 並び替え

「仕掛け日」「コード番号」「損益金」「損益率」の各項目について、「大きい順」または「小さい順」に並び替えます。並び替え項目を選択し、「大きい順」または「小さい順」を選択して、「並び替え」ボタンをクリックします。持株リストに並び替えられたリストが表示されます。

## 表示の選択

### 全銘柄表示

「持株管理」に登録されているすべての銘柄を持株リストに表示します。

### 買い銘柄のみ表示

「持株管理」に登録されている銘柄の中から、買い銘柄のみを持株リストに表示します。

### 売り銘柄のみ表示

「持株管理」に登録されている銘柄の中から、売り銘柄のみを持株リストに表示します。

## 集計表示

### 建玉

「持株管理」に登録されている銘柄をクリックすると、その建玉(売買代金「仕掛け値×株数」)が表示されます。

### 集計の表示

「持株管理」画面下部に「銘柄数」「投資金合計」「損益金合計」「損益率」が表示されます。これらは持株リストに表示された銘柄の数値です。

## 〔02〕決済リスト

持株管理から決済された銘柄の転送された銘柄のリストです。決済値の入力や訂正、削除を行います。決済された銘柄の合計の成績を表示します。

「仕掛け日」「決済日」の並び替えができます。

### 決済リスト

決済リストの一覧が表示されます。決済値等を入力し成績の評価を行います。

- 「仕掛日」 持株を仕掛けた日。
- 「買/売」 買い、空売りの別。
- 「銘柄名」 持株の銘柄名。
- 「仕掛値」 持株を仕掛けた価格。
- 「株数」 持株を仕掛けた株数。
- 「決済日」 持株を決済した日。
- 「決済値」 持株を決済した価格。
- 「手数料」 売買に要した手数料。
- 「諸経費」 売買手数料以外の経費。
- 「損益金」 仕掛値と決済値の差に株数を掛けた損益金。
- 「損益率」 仕掛値に対する決済値の損益率。
- 「日数」 仕掛日から決済値までの日数。

## 操作ボタン

### 決済値入力

「持株管理」より転送された銘柄の「決済日」「決済値」「手数料」や「諸経費」を入力します。「決済値入力」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、各項目を入力し間違いがなければ「実行」ボタンをクリックします。「決済日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

### 訂正

すでに決済として登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

### 削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の決済リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「実行」ボタンをクリックします。

### 新規登録

「持株管理」より転送されなかった銘柄や間違って削除してしまった銘柄などを新規に登録します。

「仕掛日」「買/売」「コード」「仕掛値」「株数」「決済日」「決済値」「手数料」「諸経費」の順で入力します。

「仕掛日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

「決済日」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

「諸経費」は、なければ入力しないで結構です。

新規登録の入力が完了しましたら「実行」ボタンをクリックします。

### キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

### 仕掛日並替

仕掛日を日付順に並び替えます。

#### 決済日並替

決済日を日付順に並び替えます。

#### 印刷

決済リストに表示されている銘柄リストを印刷します。

#### 期間指定表示

決済リストに登録されている銘柄を、指定された期間内に該当する銘柄のみを決済リストに表示します。これらは「仕掛日」または「決済日」の選択ができます。

#### 開始日

「年」「月」「日」の順に指定し、それぞれ「選択」のリストより該当する年月日をクリックして入力します。キーボードから直接入力することもできます。

#### 終了日

「年」「月」「日」の順に指定し、それぞれ「選択」のリストより該当する年月日をクリックして入力します。キーボードから直接入力することもできます。

#### 仕掛日

仕掛け日による期間指定表示を行います。

#### 決済日

決済日による期間指定表示を行います。

#### 実行

開始日および終了日が正しく入力できたら「実行」ボタンをクリックします。指定された期間内の銘柄が決済リストに表示されます。

#### キャンセル

間違っって入力された場合に「キャンセル」ボタンをクリックします。

## 〔 1 1 〕 配当管理

持株の配当金を管理します。買い付け銘柄については、配当を受け取りますが、空売り銘柄については、配当の支払を行います。

No.	日付	銘柄名	受取金額	支払金額	差引計
61	2013/06/20	7725 伊予電	8,575		258,043
62	2013/06/20	7615 トランス	17,577		287,620
63	2013/06/18	6458 大船	4,658		212,278
64	2013/06/18	1414 三井物産		6,518	285,768
65	2013/06/18	7718 三井物産	7,183		212,501
66	2013/06/18	7598 カシワバ	16,982		229,684
67	2013/06/18	2116 三井物産	308		228,014
68	2013/06/18	8996 東洋物産	1,488		226,526
69	2013/06/18	4306 日立物産		1,048	225,478
70	2013/06/18	6652 JTEC	19,238		206,240
71	2013/06/18	8262 西武物産		4,188	202,052
72	2013/06/18	7238 三井物産		5,022	197,030
73	2013/06/18	7942 三井物産		7,812	189,218
74	2013/06/18	8826 高松物産		11,168	178,050
75	2013/06/18	8032 三井物産		5,508	172,542
76	2013/06/18	2788 三井物産		8,378	164,164
77	2013/06/18	4842 三井物産		8,378	155,786
78	2013/06/18	5478 三井物産		3,728	152,058
79	2013/06/18	6794 三井物産	14,888		137,170
80	2013/06/18	6922 三井物産		5,508	131,662
81	2013/06/18	8976 三井物産		4,658	127,004
82	2013/06/18	6912 三井物産		3,728	123,276
83	2013/06/18	5541 三井物産		3,728	119,548
84	2013/06/18	7916 三井物産	4,188		115,360
85	2013/06/18	8232 三井物産		3,728	111,632
86	2013/06/18	7521 三井物産		7,812	103,820
87	2013/06/18	7512 三井物産		5,508	98,312
88	2013/06/18	6371 三井物産		5,508	92,804
89	2013/06/18	7418 三井物産	4,188		88,616
90	2013/06/18	8956 三井物産		9,508	79,108
91	2013/06/19	7252 三井物産	4,572		74,536

配当管理の一覧が表示されます。配当管理を行います。

「日付」 配当日。

「銘柄名」 配当があった銘柄名。

「受取金額」 配当を受け取った金額。

「支払金額」 配当を支払った金額(空売り銘柄)。

「差引計」 受け取った金額と支払った金額の差し引き額。

### 操作ボタン

入力

配当のあった銘柄の登録を行います。

「日付」「コード」「受取金額」または「支払金額」の順で入力します。

「日付」は日付ボックスの該当日をクリックして入力します。

入力が完了しましたら「OK」ボタンをクリックします。



#### 訂正

すでに登録されている銘柄の訂正を行います。

「訂正」ボタンをクリックし、下段の配当リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、ここで訂正箇所を修正します。訂正が完了しましたら「OK」ボタンをクリックします。

#### 削除

間違って登録された銘柄を削除します。

「削除」ボタンをクリックし、下段の配当リストより該当する銘柄をクリックします。選択された銘柄は上段の各項目のボックスに表示されますので、削除したい銘柄に間違いなければ「OK」ボタンをクリックします。

#### キャンセル

入力された各項目をすべて削除します。

#### 並び替え

配当のあった日付順に並び替えます。「並び替え」ボタンをクリックします。配当リストに並び替えられたリストが表示されます。

#### 期間設定

期間を指定して表示します。「期間設定」で通し番号を設定して表示します。間違いなければ「OK」ボタンをクリックします。

#### 印刷

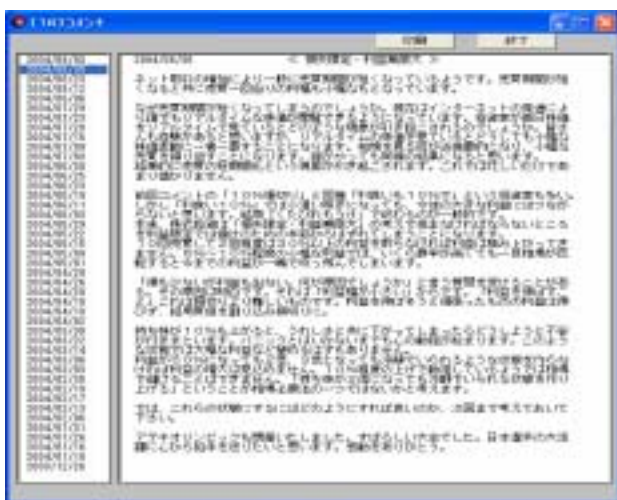
配当リストに表示されている銘柄リストを印刷します。期間を設定して印刷する場合は「期間設定」で通し番号を設定して印刷します。

## 〔 0 4 〕 成績集計

持株や決済した銘柄を集計し、そのパフォーマンスを表示します。  
「現在」「内訳」「詳細」について表示します。

## 〔 0 7 〕 コメント

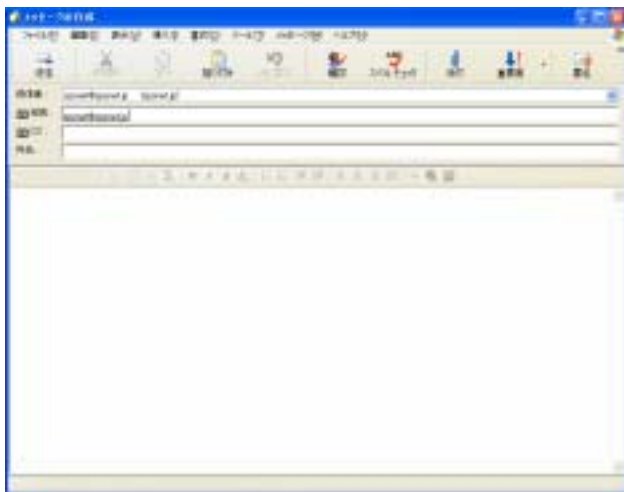
当研究所から毎週一回程度メッセージが送られてきます。システムの操作方法や本システムの売買方法、売買技法の解説を行います。技法の習得ができます。



画面左の「日付ボックス」をクリックすると、過去のコメントが閲覧できます。

## 質問メール

本システムの操作方法や指標の見方、売買法などについて理解できない点や不明な点についてメールで質問することができます。本システムが理解できるまでサポートいたします。メールにて回答いたします。



## メモ帳

売買において記録しておきたい事柄などを自由に書き込んで保存しておくことができます。



## お申し込み

「ペア・スプレッド」のお申し込みのページにリンクします。



## 〔ホームページ〕

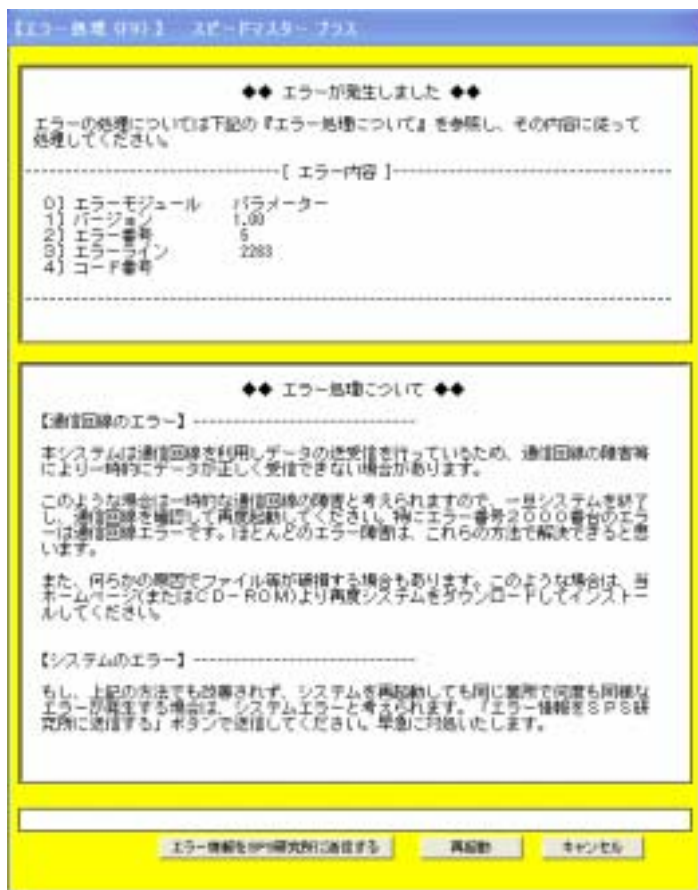
S P S 研究所のホームページにリンクします。

S P S 研究所のホームページでは、株式投資に関するいろいろな情報が掲載されています。また、当研究所のすべての株式分析ソフトが無料でダウンロードできます。



## 〔 09 〕 エラー処理

通常は表示されません。



システムにエラーが発生した場合、そのエラー内容の詳細が表示されます。

「エラー情報を S P S 研究所に送信する」

「エラー情報を S P S 研究所に送信する」のボタンをクリックすると、その内容が S P S 研究所に自動的に送信されます。

「再起動」

「再起動」ボタンをクリックすると、本システムが再起動します。

「キャンセル」

「キャンセル」ボタンをクリックすると次の処理に進みます。

ただし、致命的なエラーの場合は作動しなくなる可能性があります。その場合は「再起動」ボタンをクリックします。

本システムが正常に作動しないようなエラーの場合は、「エラー情報を S P S 研究所に送信する」

をクリックしてエラー内容を送信して下さい。早急に対処いたします。

### 【注意】

本システムは、通信回線を利用しデータの送受信を行うため、回線に障害が発生すると一時的にエラーが発生する場合があります。このような場合、再度システムを起動して同じ箇所と同様なエラーが発生しない場合は、システム上のトラブルではありませんので特に問題にする必要はありません。通信によるエラーは、エラーナンバーが2000番台です。

## バージョンアップ

本システムのバージョンアップは、完全自動システムとなっています。バージョンアップされた場合、システム起動時に自動的に処理されます。終了するまでそのままお待ちください。画面1につづいて画面2が表示されます。その後バージョンアップされた画面が表示されます。

画面1



画面2



## モニター画面サイズ

本システムは、パソコンのモニター画面サイズが 1280×1024 で作成されています。そのため、そのサイズ以下では画像が乱れたり、見えない部分が起こることもあります。しかし、機能自体には問題ありません。

パソコンのモニター画面サイズを変更する場合は、

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックする。
2. 「コントロールパネル」を選択する。
3. 「画面」を選択する。
4. 「設定」のタブを選択する。
5. 「画面の解像度」で画面サイズを設定する。
6. 「適用」ボタンをクリックする。
7. 「この設定を保存しますか」で、「はい」を選択する。

これらの方法で変更してください。

ただし、モニターによっては変更できない機種もあります。

## 回線接続のトラブルについて

インターネットが閲覧できる環境であれば必ず本システムはご利用いただけます。

接続ができない、接続に時間がかかる等につきましては下記の方法で対処してください。

### 接続が不可能な場合

通常、本システムの通信接続が不可能な場合、その多くは、ウィルスソフトによる「外部サーバーへの接続不可」の設定がされています。これらの設定を「外部サーバーへの接続可」にすることにより接続できるようになります。

接続不可の設定解除の方法は、ウィルスソフト添付のマニュアルの「詳細設定」などに説明してあると思います。もし、それらが分からない場合はメーカーに直接問い合わせると良いと思います。

また、ウィルスソフトなどのセキュリティシステムソフトにファイアウォールによる「外部サーバーへの接続不可」の設定がなされている場合もあります。これらも「ヘルプ」や添付されている「ドキュメント」等に説明してあると思います。

もし、分からない場合は直接尋ねてみるのも良いと思います。最近は、ウィルスの蔓延などにより初期設定の段階から、「外部サーバーへの接続不可」の設定がなされているようです。

本システムを利用されるためには、通信ソフト「インターネット・エクスプローラ(マイクロソフト) 5.0」以上がインストールされていることが条件です。

「外部サーバーへの接続不可」との表現は、ご使用のモデムやルータによって異なります。

詳しくは、下記をご参照下さい。

<http://www.spsnet.jp/information.html>

### **通信回線のフリーズについて**

フリーズとは、マウスやキーボードが操作不能の状態を言います。

本システムは回線を利用し、サーバーとデータの送受信を行いますので必ず回線を接続してからご利用下さい。本システムの利用途中に回線の切断や混線その他の状況により一時的にシステムダウンが起こることがあります。

ご利用中にこのような状態が起こりますと、システムがフリーズ(コンピュータ操作不能の状態)してマウスやキー操作が不能となります。このような場合、その回避策として下記の方法で対処して下さい。

(A) しばらくそのままお待ち下さい。再び自動的に回線が接続されます。

(B) 長期間フリーズ状態になった場合。

キーボードより「Ctrl」「Alt」「Delete」の3つのキーを同時押しします。機種によっては「CTRL」「GRPH」「DEL」の場合もあります。

「プログラムの強制終了」の画面が表示されますので「終了」のボタンをクリックします。

次の画面で「終了」のボタンをクリックします。

本システムがキャンセルされますので、再度システムを立ち上げてください。

【注意】フリーズした状態でパソコンの電源を切ってしまうと、システムのトラブルの原因になりますので絶対に行わないでください。



## おわりに

当研究所では、株式投資における長い投資経験により投資知識や株式分析法、投資手法については自信と実績があります。これらの積み上げられた投資技法により本システム「ペア・スプレッド」が構築されております。

当研究所は株式投資に対して常に正面から真剣に取り組み、より実戦的で直接収益につながるシステム開発に努力してまいりました。今後もこの姿勢は変わらず、投資家の皆様の投資活動に多少なりともお手伝いできるよう努力して参ります。

当研究所が長年培ってまいりました投資技法につきましても、コメント欄等において公開し、投資家の皆様の投資技術向上に貢献して参りたいと考えております。今後の投資システム構築に際しては、常に多く皆様のからのご意見、ご希望をお聞きしながら、できるだけ投資家の皆様のニーズに合ったシステム作りを心がけます。

本システムは最高レベルの株式分析システムであり、また使用されている手法や指標もすべて当研究所が独自に研究開発した指標であるため、一部には難解なところもあると思われれます。本システムで実践する場合、本システムの売買手法を十分理解され、その上でシミュレーション(模擬売買)を行ない、すべてマスターされた後に実践に入るようお願いいたします。

株式投資とは長い時間をかけて運用利益を積み上げていくものです。間違った考えやその投資手法では一時的に利益を上げることができても、投資の基本から外れていては、いずれ市場から撤退せざるをえない結果になります。

株式投資の基本は、難しいことではなく誰でも知っているシンプルな方法なのです。間違った考え方を排除し投資の基本に忠実に実践して、そして正しいリスクマネジメントを行うことによりのみ成功するものであると考えます。

正しい投資の基本を理解し、投資家自身に合った確固たる投資手法を身につけてい頂きたい願うものです。

## 本システム運用のための参考書籍

「ペア・トレード/裁定取引で儲ける！」

著者 照沼佳夫 発行所 日本実業出版社 1680円

「株を極める! システム売買 プロのノウハウ」

著者 照沼佳夫 発行所 日本実業出版社 1800円

「株を極める! ロング・ショート戦略 勝利の方程式」

著者 照沼佳夫 発行所 日本実業出版社 1800円

## ご利用料金

### 利用料金

#### ペア・スプレッド

6ヶ月	36,000円
1年間	66,000円

### お支払い先

振込み先銀行名	三井住友銀行
支店名	渋谷駅前支店
口座番号	普通口座 1812093 エスピーエス ケンキュウシヨ (SPS研究所)

振込み先銀行名	ジャパンネット銀行(銀行番号0033)
支店名	本店営業部 (支店番号001)
カナ店名	ホンテン
口座番号	口座番号 6700563 (普通預金) エスピーエス ケンキュウシヨ (SPS研究所)

S P S 研究所の株式投資支援システム

## ペア・スプレッド

運用マニュアル

( 操作方法・指標の解説・運用方法 )

- Version 1.00

発行 **S P S 研究所**

150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-20-26-509

電話 03-3770-2448

ホームページ <http://spsnet.jp>

メールアドレス [spsnet@spsnet.jp](mailto:spsnet@spsnet.jp)

無断転載禁止